

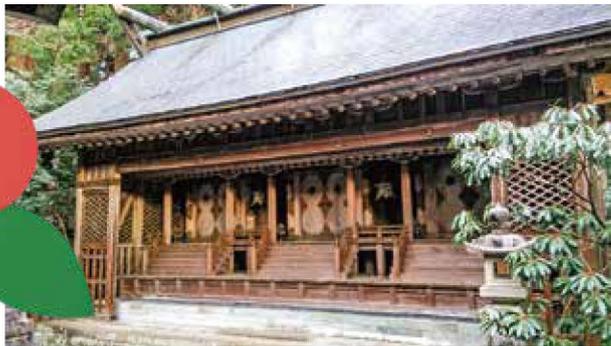
青海神社



加茂山に鎮座する青海神社は「加茂のお明神さま」と呼ばれ、古くから市民に親しまれています。

青海郷（あおみごう）の開拓者である青海首（あおみのおびと）一族が、今から1300年ほど前（726年）に加茂山の山麓に創建しました。

西暦794年の桓武天皇の平安京遷都にあたり、この地域一帯が京都の賀茂別雷神社（上賀茂神社）と賀茂御祖神社（下鴨神社）の社領となり、青海神社に両社の御祭神が御分霊されたことから「賀茂」と呼ばれるようになりました。現在の「加茂」が使われるようになったのは明治初期の頃からだといわれています。



神社御本殿

三社御本殿を合殿。椎根津彦命と大國魂命が奉られています。

